

別添6：プロジェクトレベルPNAのフォーマット例（2）

| | PNAの分析結果をプロジェクトのコンポーネントに反映する方策 | 他団員との共有 |
|--|--|--|
| <p>プロジェクト (パイロット事業の実施、ガイドラインの策定)</p> | <p>【対象地域・コミュニティ・対象者】（例）特別のニーズを抱えている人たちが多いコミュニティを支援対象とする。</p> | <p>（例）総括およびパイロットプロジェクト計画管理専門家に対し、支援対象として含まれるべきコミュニティおよび人たを指定する。</p> |
| | <p>【分野・活動】（例）C/Pを対象とした研修を実施することにより、本プロジェクトへのC/Pの関与を促す。</p> | <p>（例）総括及びパイロットプロジェクト計画管理専門家に対し、C/Pを対象とした研修案を提示する（地域開発計画など）。</p> |
| | <p>【実施プロセス】（例）社会的弱者がパイロット事業の便益を受けられるよう、計画プロセスにおいて住民組織関係者やソーシャルワーカーを含む幅広いステークホルダーとの間でコンサルテーションを重ねる。</p> | <p>（例）総括及びパイロットプロジェクト計画管理専門家に対し、コンサルテーションを行うべきステークホルダー（例：住民組織、ソーシャルワーカーなど）を特定する。</p> |
| | <p>【実施体制】（例）パイロット活動の選定や実施プロセスで住民間の問題が発生した場合は、行政官のみならず、伝統的指導者の意見も聞くようにする。</p> | <p>（例）総括及びパイロットプロジェクト計画管理団員に対して、パイロット事業の実施プロセスで住民の間で問題が発生した場合は、行政官のみならず伝統的指導者の意見も確認するよう提案する。</p> |
| | <p>【ガイドライン】 （例）社会的弱者への裨益、エンパワメントを考慮したデザインにする。 （例）地方行政に関する既存のガイドラインを活用し、同ガイドラインに対象地域特有の要素を補完する。</p> | <p>（例）生計向上/生活改善専門家に対し、寡婦を対象とした生計向上（例：自営の食品加工・レストラン運営等）のための短期訓練およびマイクロクレジットスキーム案等が盛り込まれるよう提案する。 （例）総括に対し、行政に関する既存のガイドラインをベースに対象地域特有のガイドラインを策定するよう提案するとともに、紛争予防配慮の観点から、補完すべき内容を提示する。</p> |